



の み が わ

2021年11月01日発行（通算第105号）

連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8

発行 呑川の会 代表 高橋 光夫

呑川の会 e-mail: mitsuo.takahashi@nifty.com

呑川の会 HP <http://nomigawanokai.net/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>



—秋の都市河川ウォーキングのご案内—

（石神井川上流（富士見池～三宝寺池～石神井池））

記：白石 琇朗

石神井川の源流は小金井公園の小金井カントリー倶楽部で、そこから田無駅のそばを西武新宿線に沿って流れ柳沢駅から青梅街道を横切り、東伏見駅そばの東伏見稲荷神社の脇を流れています。

2012年春に桜ウォークで歩きましたが、今回は秋の紅葉が良い石神井川の水源の一つ、**武蔵関公園・富士見池**から沼沢植物群の**三宝寺池**で昼食を食べ、続く**石神井公園**の**石神井池**を巡り、川沿いの遊歩道を歩き、川近くの練馬高野台駅まで楽しく歩きます。

*集合日時・場所：12月4日（土）10時、西武新宿線・東伏見駅南口

*散策順路・歩程：約8キロ、西武池袋線・練馬高野台駅15時解散

*参加費：500円（資料代）（途中の石神井公園駅利用は約7キロ）

*天候：朝のみ小雨または午後から小雨は決行、雨天時は翌5日（日）に順延

実施不明時は、連絡先：090-6044-7275 白石（8時まで）

*コース：東伏見駅 → 早大東伏見運動場 → 石神井川・下野谷橋 → **武蔵関公園・富士見池** → 西武新宿線踏切（武蔵関駅） → 新青梅街道（扇橋） → 遊歩道・松之木橋 → 三宝寺 → **三宝寺池（昼食）** → 石神井公園・石神井池 → 石神井川 → 練馬高野台駅



第6回 池上呑川・夏休み こども こいのぼり大会

記：白石 琇朗

昨年は、新型コロナウイルス緊急事態宣言で学校も休校になり、呑川に鯉のぼりを飾れず寂しい思いをしました。今年は池上小学校と池上第二小学校の2年生が、不織布製の鯉のぼりを4月中に作ってくれました。しかし、新型コロナ緊急事態宣言発令で、五月のゴールデンウィークでの通常開催ができませんでした。そこで、ちょうどオリンピック開催中の夏休み期間7月30日（金）夕～8月2日（月）朝に、子供鯉のぼりだけ、本門寺参道霊山橋～妙見橋間に飾ることにしました。

事前準備として、安岡さん指導の下、有志が武蔵新田の「くりらぼ多摩川」に3日程集まり、過去3年間に作成したマイラー紙製の古い鯉のぼりの修理調整を行いました。

そして7月30日（金）午後に池上特別出張所大会議室を貸し切り、会員10人で飾り付け準備を行い、5時頃に下記写真のように霊山橋～妙見橋間への飾り付けを完了しました。

池上小学校と池上第二小学校の2年生達が待ち望んでいた、可愛い手作り鯉のぼりを展示。今年作成した不織布製鯉のぼり60匹と修理調整した過去3年間に作成したマイラー紙製鯉のぼり120匹の合計180匹を飾りましたが、うれしくも評判を呼びました。

J-COMTVも前日7月29日夕方ニュースで、2019年開催時の池上第二小学校と池上特別出張所での準備作業収録映像を放映、8月6日の夕方ニュースでは、今回の「夏休みこどもこいのぼり大会」実録映像も放映してくれました。そのDVDをもらい、両校に届けました。

4日間天候に恵まれて、珍しい子供鯉のぼりの写真を撮る人も多く、見に来た人からお礼を言われたりして、ホッとしました。



「霊山橋から池上小学校」



「妙見橋から池上第二小学校」

2021年10月21日(木)

久原小学校 『呑川学習支援と実踏』

記：古海 信雄

久原小学校が過去何年も実施している『呑川学習支援と実踏』を、令和3年10月21日(木)に実施しました。学校・先生は今年も昨年と同様、コロナ騒動の中、実施するか？中止とするか何回も検討されたと言いました。

最終実施予定日が決まったのも9月末でした。そしてコースも例年行っていた学校を出発し、呑川を蒲田駅付近まで探索し、電車で久が原駅に戻ってくる半日コースは“電車使用禁止”ということで今年も変更となりました。



六郷用水の説明@10:00

また、最終地点は学校でなく、今回は「呑川の問題点の一つである蒲田駅付近での川の汚れとその対策を実際の目で観察したい」ということで、長栄橋から菖蒲橋までの探索ということになり、最終地点は菖蒲橋で終了、そこで解散となりました。

それは菖蒲橋までは『学習の時間』で、それ以降は『遠足の時間』とし、菖蒲橋から池上本門寺公園まで学校で遠足引率するという計画となったからです。

それは菖蒲橋までは『学習の時間』で、それ以降は『遠足の時間』とし、菖蒲橋から池上本門寺公園まで学校で遠足引率するという計画となったからです。

子供達を教室内だけでなく何とか校外で勉強させてあげたいという、先生の思い、ご苦労は大変なものであったと思われました。

今回は事前授業での呑川の説明はなく、その代わり予め生徒さんたちが自分で本やパソコンで勉強し、質問項目を纏めてくれました。すぐ回答するのではなく、現地で実際に自分の目で観察してもらい、その後説明を受けてもらうようにしました。全部説明できなかったものは、後日書類にて回答するようにしました。



菖蒲橋着@11:15

今年度の4年生も131名(4クラス)と大人数で、各クラス2班に分け、8班にして探索しました。呑川の会からの出席者は14名。私達はマスクをして生徒に付き添い、途中道路にての立ち止まっての説明は止め、質問があれば安全なところで説明するという方法で実施しました(写真ご参照)。

今年度の4年生も131名(4クラス)と大人数で、各クラス2班に分け、8班にして探索しました。呑川の会からの出席者は14名。私達はマスクをして生徒に付き添い、途中道路にての立ち止まっての説明は止め、質問があれば安全なところで説明するという方法で実施しました(写真ご参照)。

今回、初めて呑川の流速を上流側と下流側の2ヶ所で測定しました(上流側は、

北の橋から池上橋間、下流側は山野橋から馬引橋間など各班で選定)。各班毎に色分けした木片(プ

ラスチックではありません)を橋上から投入し、ストップウォッチなどで計測しました。計測データは各班で測定場所も異なっているので、後日、久原フェスタで発表してもらおうようにしました。

稲荷橋下流にある「氾濫危険水位表示：護岸上から1.8mの位置」、川沿いにある植物、鳥、水中を泳いでいるボラや鯉、亀など観察しながら、途中、池上第二小学校でトイレ休憩を取りました。

双流橋下流では浮遊ゴミ収集フェンスやスカム対策用のジェットストリーマ(水面に浮かんでいる小舟)などを観察し、また、JR鉄橋付近では今回初めて「高濃度酸素水浄化施設」を見ました。

天気にも恵まれて、生徒さんは呑川の魚・亀・鳥や、変化のある呑川の現状を見て喜び、よく質問してくれました。菖蒲橋から次の目的地池上本門寺へ戻る元気な笑顔を見るにつけ、やはり、机の上での授業だけでなく、現場を観察することの大切さを痛感しました。

副校長先生、先生方、主事さん、スクールサポーターの白井さんが、実行に向け努力されているのを見て、私達も感銘を受けました。

《てくてく緑道↑呑川》

『呑川物語』

記：古海 信雄

呑川上流の開渠地点の工大橋から下流に向かい左岸を歩いていくと、最初の境橋を越え、次の島畑橋までに行く途中に『一丁目広場』という大きな樺1本と笹が植えられている公園みたいな所があります。



笹が植えられているのは、この辺りは昔から笹が多く「笹原」と言われていたためです。

そして《てくてく緑道↑呑川》『呑川物語』と称し、説明文(「呑川物語①～⑦」)が書かれた7本の石標があります。

それには次の説明文が書かれています。

・「呑川物語① 呑川の源流」

呑川の水源地は世田谷区新町二丁目付近ですが、区内の最上流にあたるこの付近では、かつては呑川のことを石川と呼んでいました。その頃は幅約3～6m、深さ30～40cmの岩底磐の清流で、土手には篠竹(しのたけ)が繁茂していました。

・「呑川物語② 灌漑用水(かんがいようすい)」

呑川の流れは、流域に広がる水田の灌漑用水として、昭和の初め頃まで利用されていました。各所に簡易な堰を設けて分流・取水して田を潤し、また、米・麦を精白・製粉する水車の動力としても利用されていました。

- ・「呑川物語③ 耕地整理と長栄桜土手」
大正15年(1926)、本門寺以西から中原街道までの耕地整理が行われ、水田も畑地化しています。同時に呑川も改修され、両岸に幅五、四メートルの道が作られ、2000本の桜の木が植えられました。
- ・「呑川物語④ 農業用水から排水路」
流域の宅地化が進み、昭和15年頃からは工場も進出して、流域の田畑が減少していきます。呑川も次第に農業用水から排水路としての機能を強め、水量調節のためのシャッター(水門)や排水場が整備されました。
- ・「呑川物語⑤ 中土手」
呑川中流部の上堰橋から双流橋までの流れの中央部に土手を築いて分流し、大森方面の灌漑用水を確保しました。この土手はしばしば上流の溢水(いっすい)の原因となり、昭和六年に撤去(てっきょ)されました。
- ・「呑川物語⑥ 新呑川の開削(かいさく)」
昭和6年、洪水の氾濫(はんらん)の防止と下流を運河として舟運の便をはかろうとする計画のもとに、夫婦橋から下流の付替工事が行われ、新呑川が誕生しています。旧の呑川は現在、緑道としてその名残をとどめています。
- ・「呑川物語⑦ 海苔(のり)舟」
大森付近の海苔漁業は昭和38年春まで続きましたが、呑川の下流は海苔業者が海苔舟をけい留する河岸(かし)として利用されました。往時、両岸は海苔養殖の資材置場や海苔干しの風景が展開し、賑わいをみせていました。
- ・「庚申供養塔」
左岸の島畑橋手前約20mの「一丁目広場」を左に入った道に「庚申供養塔」という史跡があります(大田区石川町一丁目13-4)。供養塔には次の文が彫られています。
庚申供養塔 享保十三年 戊申天 石川村 三田昭〇 計9名の名
庚申供養 十一月吉日 〇念供養(享保十三年=1728年)
張り札で 澤杉 六郷 小笠原 志羽鷹 等もあります。

呑川の植物・レポート「2021年9月」(6種)

- ・フウセンカズラ・カニクサ・ヨウシュヤマゴボウ
- ・ケチヨウセンアサガオ・ヘクソカズラ・アメリカセンダングサ

記:橋本 文興

コロナ禍緊急事態宣言も解除となり自粛生活も徐々に回復しつつあります。来月には通常状態に戻ることを期待します。季節はキンモクセイやワレモコウの秋です。

呑川沿いのヒガンバナも花の茎を伸ばし一際目立ちます。今回は毎年数多くの風船を付けてくれるフウセンカズラ(蔓性植物)や綺麗な小さい花のヘクソカズラ、不思議な野草カニクサ(蔓性)、外来種のケチヨウセンアサガオとアメリカセンダングサなどを取り上げます。

1. 「フウセンカズラ」 風船蔓 別名バルーンパイン ムクロジ科

花も実も種もどこを見ても可愛らしい植物です。つる性一年草。栽培種でもあり野草。成長が早く蔓は3m位までも伸びる、葉の腋から巻きひげを出し周囲に絡みつく。緑のカーテンとしても人気がある。白い花は径3~5mm、カズラの実は最初淡いグリーン、膨らんだ実は縦にしわが入っている。

一つの実には内部が三つに分かれていて、それぞれに種が一個入っているのが特徴。(風船のような実から種が3個出来る) 種は黒地に白のハート柄に見える。

花言葉：「永遠にあなたと共に」「一緒に飛びたい」「自由な心」



フウセンカズラ (島畑橋ほか)



風船蔓内には種が3個あります。(左端の風船蔓を切断し種3個を確認)



カニクサ (一之橋児童公園)

2. 「カニクサ」 蟹草 別名ツルシノブ フサシダ科

ツツジの植え込みに覆いかぶさるように細い茎を伸ばしている、花も実もつかない不思議な雑草に見られるがシダ植物の一種(ワラビ、ゼンマイ、ウラジロ等の仲間)で蔓性植物。

樹木や岩に絡みつき地下にある根茎から一枚の葉をだしている。茎に見えるのは葉軸、中軸から分岐した多数の羽軸に緑の羽片を付ける、胞子を付ける宿根草。耐寒性ある。秋には枯れる。名の由来はこの草のツルを使ってカニを釣ったから?とあります。



ヨウシュヤマゴボウの花



ヨウシュヤマゴボウ (御成橋)

3. 「ヨウシュヤマゴボウ」 洋種山牛蒡 別名アメリカヤマゴボウ ヤマゴボウ科

北米原産、明治初期に入ってきた帰化植物。多年草で草丈1.0~2.0m、大きな株になる。花は白色やや紅色を帯び直径5~6mm。花序は長い柄があり垂れ下がる。茎は太く赤みを帯び、夏から秋にかけて果実が黒紫色に熟すと存在感がある。果実はブドウのように垂れ下がり房状になる。

黒い球状の果実をつぶすと赤紫の汁が出るため「色水遊び」の材料になる。米国ではインク・ベリー (inkberry) と呼ばれる。草木染の染料になるが全体的に毒性有、素肌で触れないこと。

アレロパシー（他の植物の成長阻害する性質）がある。花期6～9月。
花言葉：「元気」「野生」。漬け物のヤマゴボウは中国原産で別物（キク科、モリアザミの根）。



ケチウセンアサガオ（八幡橋）

4. 「ケチウセンアサガオ」 毛朝鮮朝顔 別名・アメリカチウセンアサガオ ナス科

北米原産。ケチウセンアサガオは、チウセンアサガオの栽培種で、世界で野生化している。草丈60～150cmの低木、一年草または多年草。全体に白色微軟毛があり白っぽい。

花はトランペットのような白い花、夜に咲く。最初上を向いて咲くが、その後下方に傾斜する。花径8～10cm、花柄は丈夫、萼は長い筒型。果実は直径5cmほど卵型で棘がある。花期8～9月。

全体に有毒。地域によっては栽培が禁止されている。花言葉：「陶醉」「愛嬌」



ヘクソカズラ（双流橋）

ヘクソガズラの花

アメリカセンダングサ（日蓮橋）

5. 「ヘクソカズラ」 屁糞蔓 別名・ヤイトバナ、サオトメカズラ。アカネ科

夏の終わりから秋にかけて花が咲く。悪臭はあるが花はじつに愛らしい蔓性植物。花は釣鐘状で先端が5つにわかれ、花の内側は真紅色で毛が多い。この赤い色をヤイト（お灸）に例えたのが別名のヤイトバナ。葉や茎をちぎると不快な臭いがして、これを屁や糞のにおいに例えて名前が付いた。この臭いのもとには細胞が傷つくと結合が壊れ揮発性の“メルカプタン”が生じるためとあります。

12月になると直径7mmほどの丸い果実がベッコウ色に輝く実が見られるが、毒成分が含まれ食べられません。花期7～9月。花言葉：「人嫌い」「意外性のある」「誤解を解きたい」

6. 「アメリカセンダングサ」 亜米利加梅檀草 別名：セイタカウコギ。キク科

北アメリカ原産の帰化植物。頭状花は黄色、長く伸びる葉状の6～12個の総苞片に囲まれる。舌状花は小さく見えないことも。果実の先端は二又に分かれて伸びる。（ひつつき虫）茎の断面は四角～六角、暗紫色。草丈50～150cm。今年はJR南蒲田ガード左岸上流付近に多く繁茂している。類似種類のコセンダングサ、シロバナセンダングサがあります。花期9～12月

参考図書：野草図鑑 監修 藤井伸二著者 高橋 修 発行所 ㈱ナツメ社

雑草や野草がよーくわかる本 著者 岩槻 秀明 発行所 ㈱秀和システム 2021,9,18 HY

「呑川の会」当面の活動日程

記： 高橋 光夫

* 「新型コロナウイルス」の影響で、変更することがあります。ご注意ください。

<p>「呑川ネット」総会 2021/11/4 (木) 10:00~12:00 「消費者生活センター」Gr 活動室</p> <hr/> <p>*新型コロナの広がりや延期になってしまいましたが、ようやく実施となりました。</p>	<p>「呑川の会・11月定例会」 2021/11/18 (木) 13:30~16:30 「ふれあいはすぬま」第5会議室</p> <hr/> <p>*「世話人会」は 10:00~12:00 同じく「ふれあいはすぬま」第4会議室で</p>
<p>「秋の都市河川ウォーク」 ** 石神井川上流 ** 2021/12/4 (土) 10:00~ 西武新宿線「東伏見駅」南口集合</p> <hr/> <p>*当日雨天の場合は12/5に順延します。</p>	<p>「小学校・呑川学習」等への協力依頼</p> <hr/> <p>*コロナ対策「緊急事態宣言」が終わり、小学校(久原小学校・おなづか小など)からの「呑川学習」の依頼が来ています。 ぜひ多数の会員のご協力をお願いします。</p>
<p>「呑川読本の進み具合」(編集委員長：白石 琇朗) 2022年2月までに印刷・発送予定⇒2022年3月までに、河川財団(補助金)への最終成果報告まで含めて完了予定で作業を進めています。なお、一般販売も予定しております(販売予定価格：¥1,800/冊)。</p>	
<p>「会費納入のお願い」(会計担当：橋本 文興) 本年度会費(2000円)を未納の方、振込取扱票を同封いたしましたので、誠にお手数ですが納入の程よろしくお願ひ致します。</p>	

(編集後記) (記： 松本秀雄)

最近よく見聞きする「SDGs (エスディージーズ) Sustainable Development Goals」とは!

日本語では「持続可能な開発目標」のこと。持続可能とは「何かをし続けられる」ということです。

SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示した国際的な開発目標のことです。17の世界的目標、169の達成基準、232の指標からなります。また左図は、地球温暖化への影響が最も大きな温室効果ガスの種類別の割合を示しています。CO₂が76%、メタンが16%。今秋久々に久原小呑川探検学習が行われました。折しも、温暖化予測の枠組み開発でノーベル物理学賞に真鍋淑郎

(マベシユカウ)氏が、呑川探検学習4年生からも将来のノーベル賞受賞者が出ることを願いつつ。

